

## 案内情報

### ― 撮影概要 ―

日本を代表する盆踊りの一つである郡上おどりは一九九六年二月二〇日に国の重要無形文化財に指定されました。現在は大正十一年に八幡町の有志によって発会した「郡上おどり保存会」によって踊り継がれており、毎年七月中旬から九月上旬、とくに八月中旬の徹夜おどりにには県内外から集まった多くの踊り客で賑わいます。

郡上おどりの起源には、江戸時代の郡上藩主の奨励によるものなど諸説があり、念仏踊りの流れを汲むものであるともいわれています。演目は、「かわさき」「春駒」「三百」「ヤッチク」「古調かわさき」「げんげんばらばら」「猫の子」「さわぎ」「甚句」「まつさか」の十曲です。「古調かわさき」は国の選択重要無形文化財に指定されています。

撮影は二〇〇六年九月二三日～二四日、郡上市総合文化センターにて、郡上おどりデジタル・アーカイブとして、郡上おどりの実演を四方向ハイビジョンカメラと八方向デジタルカメラにより撮影し、さらに正面映像をハイビジョンカメラで撮影しました。

本件については、実演家(甲)と撮影者及び岐阜女子大学文化情報研究センター(乙)との間で契約書を交わし、著作権(財産権)は乙に譲渡されています。

なお、データの処理および保管等は岐阜女子大学文化情報研究センターで行なっており、学校教育や生涯学習の教材として利用しています。

※ メタデータ記入用紙の登録日・登録者等の情報は、記入日・各自の氏名をお書きください。